

Time: 2018年10月23日(火) 5限

Place: 6号館2階のセミナールーム

今回の文法カフェでは、**受動文** と **過去分詞** の用法について考えます。例えば:

- (1) 能動文と受動文って、「同じ意味」? どうして2つの言い方があるの?
- (2) I'm surprised. The store is closed. の surprised, closed は形容詞? どうして、受動文の過去分詞は、時々、形容詞になれるの?
- (3) 「過去分詞表現」はどうして「受動態」の意味になるの?
- (4) He got arrested. も受動文?
- (5) 日本語の受動態と英語の受動態、どこがどう違うの? どうして「私は自転車を盗まれた」は英語で「\*I was stolen my bike.」って言えないの?

### 受動態/受動文って何?

受動文は能動文と対応すること、知ってますね? その対応の基本は、能動文の**目的語を主語にして、目的語(出来事に影響を受ける側)から、出来事を述べる**ということです。行為者(能動文の主語)の方から述べる能動文と捉え方が「違う」ことを、動詞のところで「be 動詞+過去分詞」にして、受動文であることをマークする。そして、元の主語は無視(省略)することもできる。だから、

The police arrested the man. → The man was arrested (by the police).

- (1)&(2) 影響を受けた側から出来事を考えると、その「影響」のあり方(どんな状態になったか)が重要になってくる。過去分詞形にして(形容詞にも似た)「状態」を表すことが可能になる。→ (2) 過去分詞形は時制を表せないで、「be 動詞」が必要になる。be 動詞の代わりに get を使うこともある。→ (4)
- (3) 分詞表現は「be 動詞」を使わないで、be 動詞の機能を、主文に「お任せ」する表現。どうすると「お任せ」できるのか、他の「be 動詞」を使わない表現も一緒に、考えてみましょう。(受動態的)過去分詞表現を使えるようになると、一気に、表現力が増します。読解に自信がつかます。
- (4) be の代わりに get を使うと、「影響を受けた状態」より「プロセス」に焦点が移る。いろいろな例文で比較してみます。
- (5) 日本語の受動文は「られ」が使われる。日本語では、出来事の影響を、影響を受けた目的語からだけでなく、その出来事に関わる他の要素(例えば、話者とか、目的語の所有者とか)の視点も入れることができる。そこが、英語の受動文との「ズレ」。そのズレ、考えてみましょう。

その他、受動文にまつわる「???」を、参加者みんなで考えてみましょう。質問も大歓迎です。とりあえず、1~6を受動文にしてみてください。7~10は受動態なのかも考えてみて。

- |   |                               |
|---|-------------------------------|
| 1. Someone stole my bike.                                 | 6. My mother made me a dress. |
| 2. Mom told me to stay at home.                           | 7. The store is closed.       |
| 3. Everyone considers Mary a good leader.                 | 8. I am really shocked.       |
| 4. He sent his mother the package.                        | 9. a fallen leaf              |
| 5. The news that Taro passed the exam pleased his mother. | 10. a stolen bike             |